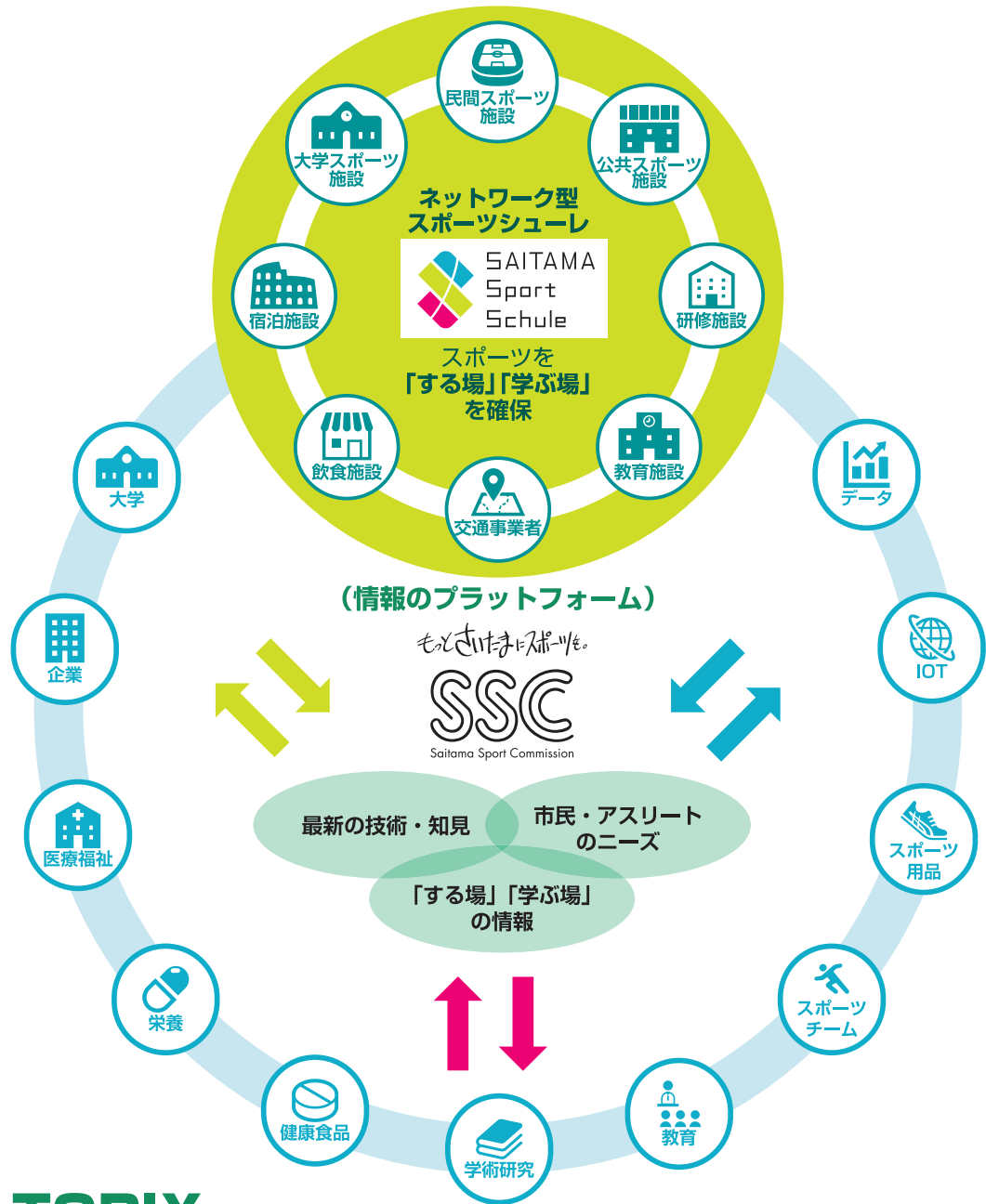


さいたまスポーツシュールとは？



さいたまスポーツシュールとは

市内に集積するスポーツ施設群を中心に、市内の宿泊・研修施設等をネットワーク化することで、スポーツを「する場」、「学ぶ場」を確保するとともに、企業・大学・団体等が最新の知見や技術をスポーツに活用するための「実証の場」を構築する仕組みです。

さいたまスポーツコミッション (SSC) は、さいたまスポーツシュールの推進母体として、スポーツチーム・団体等と市内の施設や企業・大学等とをつなぐコンシェルジュの役割を担っており、スポーツ大会・合宿等の誘致や、新たなスポーツビジネスの創出に向けた取組を推進しています。



SAITAMA Sport Schule

TOPIX

(仮称)さいたまスポーツシュール推進施設整備に向けた検討を推進！

市民やさいたま市に集う国内外のアスリートが、適切な指導やノウハウにアクセスし、生涯にわたってスポーツを楽しむための機能 (ソフト) と新たな施設 (ハード) を一体的に備えた「(仮称)さいたまスポーツシュール推進施設」の整備に向けた検討を進めています。

スポーツのまち さいたまの実現

未来につなぐさいたまスポーツ文化の発展と継承

(仮称)さいたまスポーツシュール推進施設

- 市民が生涯にわたってスポーツを楽しむことを支え、トップアスリートを支えるための知の集積
- あらゆるスポーツの発展を支え、スポーツによる国内外の対流・交流を加速

スポーツ人材の育成

- スポーツをすることが、生涯にわたりその人の人格的資産になるような指導ができる指導者人材のメソッド開発・育成拠点
- トップアスリートの育成メソッド開発拠点

持続可能なスポーツ環境の整備

- 子どもから高齢者まで市民が生涯にわたりスポーツを楽しむためのスポーツ科学・ヘルスケアの情報集積・体験拠点
- 女性アスリートを支える拠点

スポーツビジネス・スポーツ産業の創出・活性化

- さいたま市の新たなスポーツ文化の展開を促すようなスポーツビジネスの発展を促す研究開発拠点
- 国内外のスポーツチーム・団体の交流拠点





スポーツ人材の育成

民間力を活用し、子どもたちを中心とした「未来のスポーツ人材」を育成することで、将来のスポーツ振興の担い手を確保する。



持続可能なスポーツ環境の整備

利用可能なあらゆる既存の民間施設の活用や、民間力を最大限に活用したスポーツ施設等の整備をすることで、持続可能なスポーツ環境を整備する。



スポーツビジネス・スポーツ産業の創出・活性化

国におけるスポーツの成長産業化の動きと連携し、最新の技術を活かした新たなスポーツビジネス・産業の創出・活性化の支援を行うことで、将来にわたる持続的なスポーツ振興の原動力を創出する。



PROJECT 事業

01 コンディショニングアプリの実証

子どもたちが、安心・安全かつ効果的にスポーツに取り組める環境を創出するため、学校現場と連携して、コンディショニングアプリやデータ等を活用した実証事業を行っています。得られたデータ等を研究・分析し、適切な指導方法や教材の開発を進めています。



- アプリによる自己管理や保健講話の実施により、生徒はもとより、教員においても、健康やコンディショニングに対する意識の変容、一部の行動変容に結実
- 実証対象となった部活動における競技成績の向上

02 スマイルプロジェクト

練習や試合の機会を見つけにくい女子中学生が気軽にサッカーを楽しむことができる場を増やしていくことを目的に、浦和レッドダイヤモンズ、大宮アルディージャのコーチ等による合同練習会「スマイルプロジェクト」を開催しています。

また、サッカーの練習のみならず、睡眠・食事の大切さや女性アスリートの三主徴^{*1}について学ぶセミナーを実施しています。

*1 激しいトレーニングによる「エネルギー不足」「無月経」「骨粗鬆症」のリスク(スポーツ庁)



- 延べ参加者約 740 人 (令和元年度～令和 4 年度)
- 合同練習会アンケート「非常に満足した」「満足した」の回答約 90% (令和 4 年度)

- 女子中学生等のサッカー練習環境の更なる充実・活性化を図ります。
- スポーツにおける女性特有のさまざまな課題に対応するためのセミナーやアドバイスの充実を図ります。

03 バスケファンプロジェクト

小学生や親子がバスケットボールを気軽に体験できる機会を提供することを目的に「バスケファンプロジェクト」を開催しています。プロバスケットボールチームさいたまブロンコス等との連携により、バスケットボールを「する」「みる」機会へつなげます。



- 延べ参加者約 500 人 (令和 3 年度～令和 4 年度)
- 小学生向け体験会アンケート「とても良かった」「よかった」の回答約 97% (令和 4 年度)
- バスケットボール観戦への興味・関心アップ

- 産・学・官のネットワークづくりにより、練習環境や指導環境の更なる充実を図ります。
- バスケットボールへの興味・関心を高め、バスケットボール文化を醸成します。

04 SOIP (スポーツオープンイノベーションプラットフォーム)

企業、プロスポーツチーム、大学、金融機関等との連携・協力により、スポーツによる社会課題の解決や新たなスポーツビジネス創出を図ります。

テーマ

- 市内未活用アセットを活用したスポーツ分野での連携創出
- With/After コロナ時代を見据えた新たなスポーツ産業のモデル組成
- スポーツテックを活用したヘルスケア産業の創出
- 女子スポーツを軸とした新事業の創出
- 新たな部活動の形



- さいたまブロンコスと埼玉大学とのマッチングにより、大学体育館の空き時間を練習に提供
- スポーツ関連のスタートアップ企業とさいたまスポーツシューレ連携企業^{*2}との間で、将来の協業に向けた検討がスタート

*2 「さいたまスポーツシューレ」の理念に賛同し、相互に協力・連携する協定をさいたま市、さいたまスポーツコミッションと締結した企業

- スポーツに関わるさまざまな企業・団体等のビジネスマッチングを進めます。
- 社会課題の解決や、新たなコミュニティの創出、関係人口増加に寄与する価値の創出を図ります。

VISION 目指す姿

- コンディショニングを有効に指導するための教材作成や研修機会の充実などを進めます。
- データと理論に基づく適切な指導ができる人材の育成を図ります。